

入院診療計画書

乳房全摘術・ティッシュエクspander挿入術を受けられる（ ）様へ

病名
症状

年齢
受持看護師

生年月日:

薬剤師
管理栄養士

2部 印刷
1部:患者ファイル
1部:患者様用

手術日時 年 月 日 AM ・ PM 時 分

リハビリ

病日	手術前日	手術当日		術後1日目～術後8日目
		(術前)	(術後)	
日付				～
目標	不安がなく治療(手術)を受けることができる		身体が痛い時や気分が悪いときなどに訴えることができる	早期に歩くことができる 身体が痛い時や気分が悪いときなどに訴えることができる 退院にむけての準備ができる
食事	原則として21時からは食事ができません (水分摂取については麻酔科医から説明があります)	術前は食事は絶食になります (術前の水分摂取については麻酔科医から説明があります) 術後、病棟に帰ってきてから2時間30分後に水分摂取可能となります		食事が開始となります ※食事療法が必要な方は、病状にあわせた治療食が出ます
安静度	制限はありません		術後7日目まで手術した側の腕を肩より上にあげることはできません	院内は自由です
清潔	シャワー浴ができます マニキュアを落としてください	義歯・指輪・ヘアピンははずしてください お化粧はしないでください		創部に管が入っている間は看護師が身体を拭きます 術後3日目から下半身のシャワー浴ができます
排泄	21時に下剤を飲んでいただきます	手術室で尿の管を挿入します		尿の管を抜きます 尿の管を抜いた後は歩いて病棟内トイレを使用できます 全身のシャワー浴は(シャンプー含む)は、医師の指示があれば可能です
検査				必要に応じて、医師の指示による血液検査やX線撮影を行います
治療	※抗凝固剤を内服している方は内服が中止できていることを確認します		痛みがあれば坐薬や点滴などで痛み止めを使用します	内服薬については、主治医の指示が出たら再開します 痛み止めの内服が処方されます
リハビリ	理学療法士が術前の肩関節の可動域の測定を行います 手術する側の腕には特に制限はありません		術後の安静度に合わせてリハビリを開始します 術後7日目まで手術した側の腕を肩より上にあげることはできませんが、肘を曲げるなどできる範囲で理学療法士と一緒にリハビリを開始します 退院にむけての指導を行います	
処置	リストバンドを装着します 必要物品 胸帯 1枚 バスタオル 1枚 ア Tentタイプオムツ 1枚 手術をする乳房に医師が印をつけます センチネルリンパ節生検の場合は注射があります	朝、手術着に着替えて点滴を開始します 弾性ストッキングをはきます 手術に支障が有る場合は毛を剃ります	手術の傷の状態を医師や看護師が確認します 心電図モニターをつけます(入室後3時間) 点滴を開始します 酸素吸入を行います 管を挿入します	手術の傷の状態を医師や看護師が確認します 食事ができれば点滴を終了します 医師により創部の管を抜去します
説明指導	主治医・麻酔科医・看護師から説明があります 手術室看護師から説明があります 同意書は手術当日までに看護師にお渡しください 抗生剤にアレルギー歴のある場合は医師または看護師にお知らせください	手術中、家族の方はデイルームにて待機ください	手術後は看護師が定期的な状態の観察に伺います 主治医から術後説明があります	傷の痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います 術後の肺合併症・腸閉塞予防のためにも、術後積極的に身体を動かし歩くことがよいとされています 退院にむけての指導を行います 退院日と次回外来受診日が決定します (退院指導) 医師から退院後の注意点と次回外来受診の説明があります

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性 ☒ 有 ☐ 無

◇総合的な機能評価◇ ☐ 評価対象外

・日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・認知機能	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・意欲	☐ 問題なし	☐ 要経過観察

限度額適用認定証(高額医療)の申請については医事課へ
ご相談下さい

主治医 印
又は署名
私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。
年 月 日
患者 又は 親権者・親族等サイン (続柄)

高知赤十字病院 外科 05-003-0(患者用)